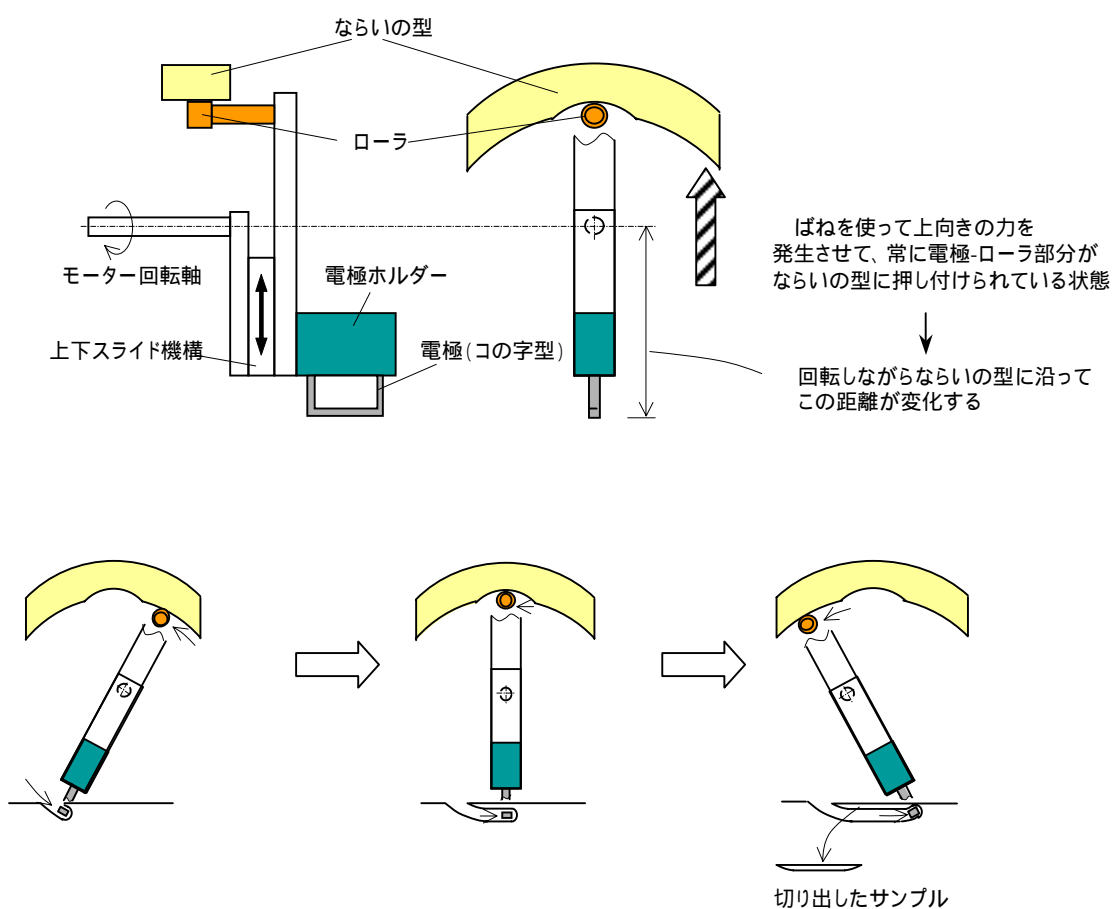


「放電サンプリング装置の特徴」

1. 装置の特徴


装置の特徴は以下の通りです。

- (1) 可搬式のため、現地でのサンプル採取が可能です。
- (2) 表面層をすき取ることで、設備本体への影響を最小限にします。
- (3) 実機部材の形状に合わせた位置で、自由な採取が可能です。
- (4) 採取時におけるサンプルの加工変形および、熱変形を最小限にします。
- (5) サンプル採取コストが低減出来ます。

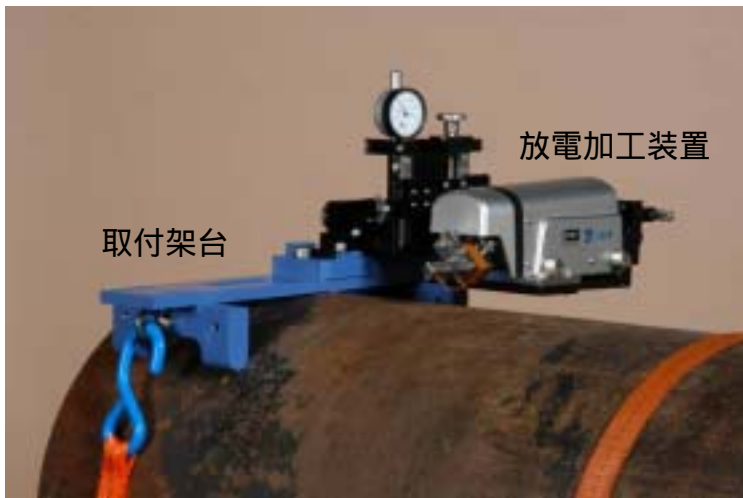


動作概念図

2. 装置の仕様

標準採取サンプル	寸法	Max 2.5T × 20W × 40L (mm) Min Max (T : 1.0mm ~ 2.5mm)
	外観	
放電加工装置本体	寸法	90W × 200L × 70H (mm)
	重量	1.4kg
	電極	Cu
取付架台	寸法	385W × 365L × 220H (mm)
	重量	3.5kg
	移動距離	前後左右 各10mm 上下 40mm
	ヘッド回転	2方向 各15°
	固定方式	専用治具とベルトを用いた固縛方式
	取付姿勢	加工対象に対して水平・垂直の2方向(90°)回転
加工液循環装置	寸法	400W × 470D × 500H (mm)
	重量	16kg
	加工液	加工油
	回収タンク	タンク容量 20L
	循環方式	循環ポンプ式 飛散防止フードを設置して、タンクへ加工液を回収する
	その他	キャスター付きで移動が容易である
制御盤		3分割可搬式
	寸法	各320W × 350L × 222H (mm)
	重量	52kg (制御部・抵抗部 各12kg、トランス部 28kg)
	電源	AC100V 1kVA

3. 装置の外観



加工液循環装置



制御盤

4. 装置の構成

本装置は以下に示す3つの部分から構成されています。

放電ヘッド部

ならい機構を採用した放電加工によって、サンプルを採取する部分

加工対象への装着及び、サンプル採取位置を位置決めする取付架台を含む

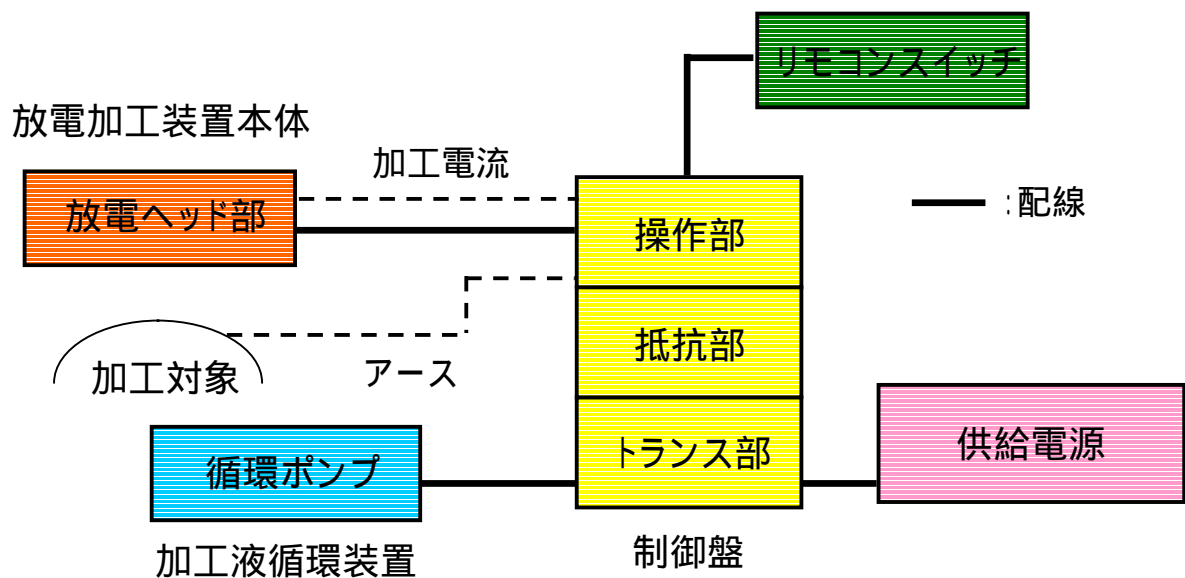
循環ポンプ部

放電加工を行なうための加工液を循環させる部分

制御盤

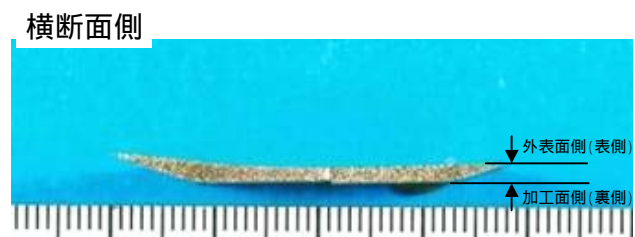
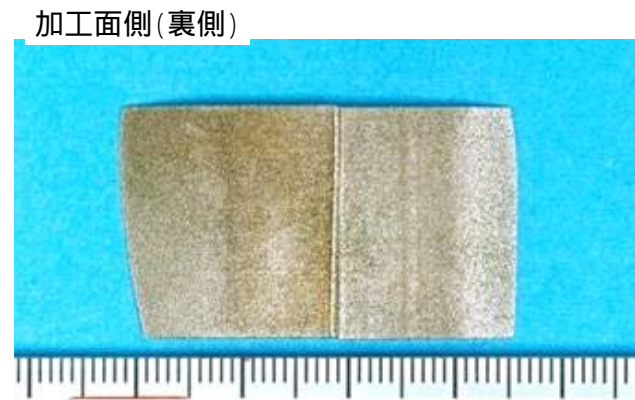
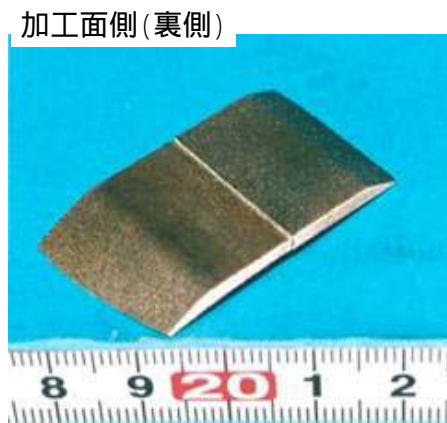
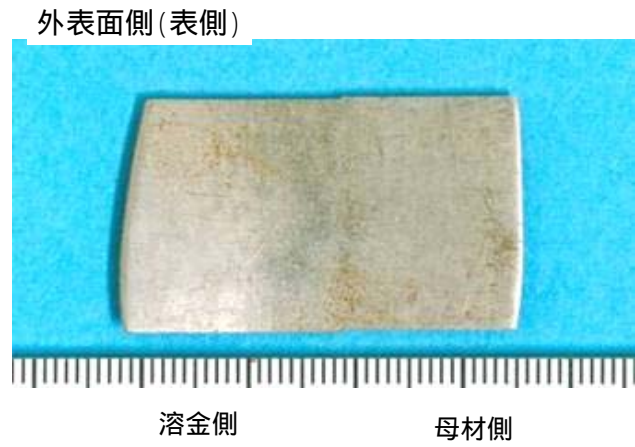
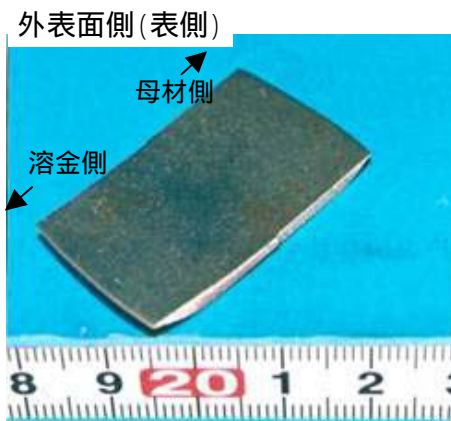
放電ヘッド部と循環ポンプへ電源を供給する部分

操作部、抵抗部、トランス部から成る



装置構成図

5. 採取サンプル状況



採取サンプル(微小試験片用素材)